

## 舗装診断士試験について

### 1. はじめに

インフラに関する維持管理が重要視されている昨今、平成 28 年 10 月に国土交通省から舗装点検要領が発刊された。その翌年、一般社団法人日本道路建設業協会によって舗装診断士の資格が創設され、平成 29 年 6 月に第 1 回の資格試験が実施された。

また平成 30 年 2 月には舗装診断士が、国土交通省の点検業務と診断業務を実施する資格として登録された。本稿は、舗装診断士試験の受験体験を交えて、この資格の概要について紹介するものである。

### 2. 受験資格

舗装診断士の受験資格を以下に紹介する。

#### (1) 必要な保有資格

- ① 1 級舗装施工管理技術者 または
- ② 2 級舗装施工管理技術者 + 技術士（建設部門）または  
特別上級・上級等（土木学会認定資格）または  
RCCM（シビルコンサルティングマネージャ）

#### (2) 7 年以上の舗装関連業務の実務経験

計画、調査、設計、監理・監督、工事、試験、評価、技術開発

#### (3) 前述（2）の中で舗装の計画、調査、評価に関する 1 年以上の実務経験または 3 件の実務経験

上記（1）～（3）を満たす者に受験資格が付与される。

### 3. 試験内容と試験時間

試験は、舗装施工管理技術者資格試験と同じ日に実施される。

#### (1) マークシート方式の択一試験 試験時間は 3 時間

舗装に関する基礎知識（管理、点検・評価、補修計画・設計、補修工事）

午前中の試験は、択一試験の問題が 50 問、幅広い内容で出題された。

(2) 専門記述試験 試験時間は3時間

① 経験業務に関する記述 (800字)

「あなたが実際に行った舗装に関する業務のうち、舗装診断士としてふさわしいと考える業務を1つ選び、以下の事項について回答欄に納まるように記述しなさい。」

- ・業務の概要
- ・その業務の中で果たしたあなたの役割
- ・業務を進める上での技術的課題と解決策
- ・業務の成果とその評価

② 舗装の調査・点検・維持修繕に関する3つの記述

- ・構造調査の目的、アスファルト舗装の構造調査の代表的な2つの調査方法を記述
- ・舗装点検要領に関連した点検等に関する記述
- ・コンクリート版上にアスファルト舗装を行う場合のリフレクションクラック抑制対策を2つ簡潔に記述

③ 舗装の変状の写真を観察し、現場条件を提示したものを考慮し、変状の原因と必要な調査、補修方法の記述 (1,000字)



写真1 アスファルト舗装の現況

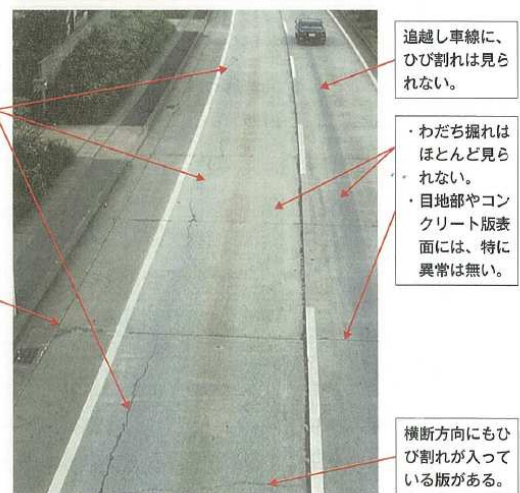


写真2 コンクリート舗装の現況

出展(一社)日本道路建設業協会 HP

アスファルト舗装の変状(写真-1)、コンクリート舗装の変状(写真-2)、他1の3つから1つを選択し回答する。

上記①については、事前に準備することは可能である。②については、調査・点検・維持修繕に関する幅広い知識が必要である。③については、変状の調査を行いその原因を特定し補修案を提案した経験が必要となる。

[ 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 ]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F  
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

## 日本技術士会 岐阜支部 会報

2019.07.16

## 4. 合格率

舗装診断士の合格率を以下に紹介する。

## (1) 第1回目の試験(平成29年度)

項目	合格者		
	男性	女性	合計
受験者数 (人)	3,025	12	3,037
構成率 (%)	99.6	0.4	100.0
合格者数 (人)	675	4	679
構成率 (%)	99.4	0.6	100.0
合格率 (%)	22.3	33.3	22.4

## (2) 第2回目の試験(平成30年度)

項目	合格者		
	男性	女性	合計
受験者数 (人)	2,640	13	2,653
構成率 (%)	99.5	0.5	100.0
合格者数 (人)	343	4	347
構成率 (%)	98.8	1.2	100.0
合格率 (%)	13.0	30.8	13.1

受験者の大半は、1級舗装施工管理技術者の資格保有者ということを考えると、舗装診断士の合格率は意外に低く、より専門的な資格であると感じる。

## 5. おわりに

今、思い起こすと37歳で技術士の二次試験を受験する時、このような資格試験は生涯でこれを最後にしようと思った。しかし、その後44歳でコンクリート診断士を、51歳で土壌汚染調査管理技術者を、この試験は58歳で受験し幸いにも合格した。どの試験も楽なもの無く、年齢を重ねるとさらに過酷になってくる。日々変化する建設環境への対応のため様々な資格が創設されている。現在60歳となり、自分では若いつもりであるが、最近、近眼に加え老眼が進み、遠くも近くも見え難い視力となった。しかし、これからも諸先輩に近づけるよう、微力ながらコツコツやって行きたいと思う。

様々な自然災害等が発生する日本であるが、我々は、安全と安心を感じることの出来る「恵み豊かな自然環境と強靱な国土・インフラ」を次世代へ継承していかなければならない。切にそう思う。

## [ 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 ]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F  
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp